



議会だより

せとうち

2016

8.1

第47号



議案審議	2～3
視察報告	4
一般質問	4～13
地域のかがやき	14
議会報告会	14

オンリーワンの糸あやつり人形作成中

議員定数削減 20人から18人に

議員定数見直しを議会運営委員会でも検討してきた。次期選挙から議員定数を20人から18人に改正する条例案が議員から提出され、賛成多数で可決した。

〈討論〉

反対

平成27年の中期財政計画では、議員報酬5%カットが提案されている。定数削減のみの議論は問題だ。

議員には市政に市民の意見を反映させる使命があるが、様々な声が届きにくくなる。

賛成

昨今の社会情勢、本市の厳しい財政状況を踏まえ、議員自らが身を切る改革をすべきと考える。

5月に開催した議会報告会でも、全地域で議員定数を削減すべきとの意見があった。

消防職員 定数増

市民の安全安心を守るため職員を3名増とする条例案が提出され可決した。

議会は、「救急での出動件数も増えており、さらなる増員も含めて、適正な職員配置を検討すべきである」とした。



訓練に励む消防職員

新市民病院の有料室使用料を可決

新市民病院の病床の3割にあたる有料室使用料（特別室10800円、個室5400円、2人室3240円）を定める条例が提出され、賛成多数で可決した。

〈討論〉

反対

県内の自治体病院では岡山市民病院に次ぐ金額であり、高額である。市民が利用しやすいようにするべきである。

賛成

面積、設備を総合的に勘案すると、この金額は妥当である。様々な市民のニーズに十分対応できる。



完成に向けて整備がすすむ市民病院

駅前整備計画委託料に 800万円

市内3駅の整備計画の策定予算が計上され、可決した。

駅前整備検討委員会（仮称）委員の報酬36万円も可決した。

〈討論〉

賛成

3駅の整備コンセプト、概算事業費、駅前整備検討委員会（仮称）の資料作成等を委託する。

整備検討委員会とは。

駅前整備を広く市民に理解してもらうことを目的とする。

委員には、駅利用者、商工観光等の事業者、学識経験者、JR関係者等を考えている。

JRに費用負担をしつかり要請すべきでは。

難しいと認識しているが、協議していく。

新甲山配水池 建設事業総予算 約6千万円増

当初予算の計画を見直し、総額が約3億1600万円になる予算が計上され可決した。

〈討論〉

賛成

当初予算に計上していなかった周辺整備工事と、地盤強化対策が必要となったためである。

長期間使用する施設である。市民の安全安心を第一に考え、材質や工法も含め、もう一度しっかり協議してはどうか。

専門の関係者を集め市民の安全安心を考え検討する。

邑久給食調理場に 約150万円

現在、邑久調理場は炊飯業務を休止しているが、炊飯業務を再開するための整備設計予算、約150万円が計上され、可決した。

〈討論〉

賛成

電気・ガス・IH等施設の中で、適している方式を検討する。

炊飯方式は。

来年度に整備予算を計上し、夏休み中に更新工事を予定している。

人事案件

●固定資産評価審査委員に
森 京一氏を
任命することに同意

平成28年第2回（6月）定例会 賛否の公表

議案名		議決年月日	採決結果	公明党 瀬戸内市議員	日本共産党 瀬戸内市議員	せとうち クラブ		瀬戸内市民の会						改 革			鼎の会			無会派	賛 成	反 対		
				河本 裕志	高岡 直美	島津 幸枝	厚東 晃央	石原 芳高	中村 勝行	小野田 光	原野 健一	馬場 政教	平原 順一	竹原 幹	川野 泰一	日下 俊子	廣田 均	日下 敏久	小谷 和志	森 俊之			布野 浩子	角口 隼一
承認 第3号	専決処分の承認を求めることについて（瀬戸内市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	H28.6.17	承認	○	○	●	●	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3
承認 第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成27年度瀬戸内市国民健康保険特別会計補正予算（第5号））	H28.6.17	承認	○	○	●	●	○	○	●	○	○	—	●	○	○	○	○	○	○	○	○	15	4
議案 第55号	瀬戸内市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	H28.6.29	原案可決	○	○	●	●	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3
議案 第56号	瀬戸内市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正することについて	H28.6.29	原案可決	○	○	●	●	○	○	●	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	3
発議 第2号	瀬戸内市議会議員定数条例の一部を改正することについて	H28.6.29	原案可決	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	2

○＝賛成 ●＝反対 ―＝議長職（議長は採決に加わりません）

産業建設水道
常任委員会

視察先 愛媛県上島町

目的

レモンを活用した産業振興について
皮まで食べられることをアピールし高価格で販売している。また、廃棄物になるレモンのかすを豚に食べさせ、レモンポークで売り出す等、町内循環が実現している。今後参考にしたい。

環境福祉
常任委員会

視察先 南但クリーンセンター

目的

ごみ処理について
兵庫県朝来市、養父市のごみ処理をバイオガス発電に利用している。そこで発電した電力は施設内利用と売電も行っている。
本市も生ごみ処理は課題である。今後も研究していきたい。

総務文教
常任委員会

視察先 滋賀県甲賀市

目的

一括交付金によるまちづくりについて
小学校区単位で自治会を存続したまま、各種団体を取り込む「自治振興交付金」を交付している。また、職員を配置し、自治振興会支援機能と公民館機能、行政窓口機能を持たせている。本市にあつた仕組みを議論していく。

視察先 愛媛県西条市

目的

総合6次化産業都市について
個の農業従事者だけでは負えないリスクを、他の商工業者や金融関係との連携で回避、対応している。市のリーダーシップの必要性と、民間の活力を活かす仕組みは、大いに勉強になり、取り組みたい。

視察先 滋賀県草津市

目的

生活困窮者自立促進支援事業について
生活困窮状態からの脱却のために、「一時生活支援」と「子どもの学習支援」を行っている。生活保護まで至らない生活困窮者のサポート体制の充実について、委員会として執行部に働きかけていきたい。

視察先

滋賀県近江八幡市

目的

市民バス運行事業について
各町内・集落内にまで入り込み、市役所、駅、総合医療センターをつないでいる。
持続可能な計画を議論していく。

一般質問

日下俊子（5ページ）

1. 福田保育園の拡張について
2. 公園の整備について
3. 有害鳥獣対策について

竹原幹（5ページ）

1. 自治組織のあり方について
2. 国道2号とまちづくりについて

河本裕志（6ページ）

1. 危機管理について
2. ペットについて

原野健一（6ページ）

1. 旧牛窓診療所について
2. 瀬戸内市景観審議会について

角口隼一（7ページ）

1. 「住み続けるなら瀬戸内市」を実現するための医療及び保育環境の充実整備について
2. 人と自然が織りなすあわせ実感都市の実現に向けて市の機能の充実と職員の採用と育成について

日下敏久（7ページ）

1. 国が策定した認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）について
2. 幼児期教育の格差について
3. 市長選挙について
4. 安全安心のまちづくりについて
5. 中学校での部活動について

森俊之（8ページ）

1. 市道錦海師楽線の周辺整備について
2. 沿岸部排水計画の策定について
3. 公共交通網形成計画について

高間直美（8ページ）

1. 女性が活躍できる瀬戸内市について
2. 防災について

島津幸枝（9ページ）

1. 安全安心の住宅施策について
2. 新火葬場整備について

布野浩子（9ページ）

1. 地域産業創出総合対策事業について
2. 鳥獣被害対策について
3. 地域一括交付金について

小谷和志（10ページ）

1. 空き家対策について
2. 耕作放棄地及び周辺地の対策について
3. 高齢者世帯の生活支援について

厚東晃央（10ページ）

1. 国民健康保険について
2. 子育て環境について
3. 公共交通について

石原芳高（11ページ）

1. 協働のまちづくりについて

室崎陸海（11ページ）

1. 歴史、伝統、文化の保存・継承について

馬場政教（12ページ）

1. 鳥獣被害対策のさらなる充実に
2. 民間企業を利用した事務事業の効率化について
3. 公共交通について
4. 観光行政について

小野田光（12ページ）

1. 裳掛児童館の耐震について
2. 小規模特認校について
3. 本庁舎の統合について

川野泰一（13ページ）

1. スポーツ振興について
2. プレジャーボート係留場所の整備について
3. 市道の拡幅について

中村勝行（13ページ）

1. 市長の政治姿勢について
2. 未利用地の活用について

一般質問

原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります

日下 俊子

問 公園の整備は地域の公園からすべきでは

答 今後十分検討していく



問 子育て中のお母さんたちが集う場所、そして地域の人たちがつながる場所、それが身近な地域の公園である。

大きな立派な公園を計画しているようだが、地域にある身近な公園こそが、安心して子どもを産み育てることができる地域づくり・人づくりの土台となるものではないか。

市長

公園を整備するに当たっては、課題もあると思うので今後検討していく。

問 市内にはさまざまな公園や遊園地がある。条例も所管も管理もバラバラである。統一すべきではないか。

今年度、鳥獣被害対策協議会および、鳥獣被害対策実施隊も立ち上がり、3年ぶりに鳥獣被害防止計画も改定された。

市長

もっと市民にもアピールし市民を巻き込んで被害防止に取り組むべきと考える。

住民同士が情報交換したり、相談し合うことができる被害防止対策ワークショップを開催してはどうか。

産業建設部長

まずは、鳥獣対策のセミナーなどから進めていきたい。
多くの市民の方に参加してもらえよう検討する。

竹原 幹

問 行政委員等の身分を見直すべきでは

答 一括交付金制度導入と並行し検討する



問 自治会への加入状況は。また、未加入者をどう認識しているのか。

平成28年6月現在の加入世帯は、1万2763世帯で、加入率は96%。未加入者が約600世帯あり、防災、防犯など安全安心なまちづくりには影響があると考えている。

総務部長

問

平成11年に吉永町では、区長等に対する報酬や費用弁償の支出は違法とされた。

市長

市内唯一の国道であり、重要な役割を担っている点は柔軟に盛り込んでいく。今後の検討課題としたい。

市長



自治会の役割（溝掃除の風景）

本市も、行政委員等は、市長が非常勤特別職として委嘱し、報酬を支払っており、グレイゾーンは免れない。また、公職選挙法には公務員の地位利用による禁止規定があり、これに抵



河本 裕志

問 ペットの苦情相談は

答 平成27年度中90件

問 市民からペット苦情相談が多数寄せられているのか。

環境部長

ふん尿・悪臭17件、放し飼い7件、鳴き声6件、迷い犬37件など、犬55件、猫31件、その他4件である。

問 環境美化条例はどのように定めているのか。

環境部長

ふん害をしてはならない。悪質な違反者に対して、指導、改善、勧告ができ、罰則規定もある。

問 啓発活動はどうか。

環境部長

地域の環境委員を通じて、自治会回覧の依頼、啓発看板を渡している。

問 大規模地震で、消防本部の通信システム等ダウンしないか。

消防長

無停電電源装置、予備電源装置、自家発電装置を設けているので、問題ないと考える。

問 通電火災を防止する感震ブレーカー等、設置

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
		
センサーが揺れを検知し、ブレーカーを落として電気を遮断 約5～8万円	センサーが揺れを検知し、コンセントから電気を遮断 約5千円～2万円	重りの落下やバネの作動によりブレーカーを落として、電気を遮断 約3～4千円
電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要
・作動の信頼性が高い ・地震検知後、3分の遮断猶予が設定	・作動の信頼性が高い ・コンセントごとに、通電の遮断が可能 ・揺れと同時に電気が遮断	・安価だが作動の信頼性に劣る ・揺れと同時に家屋内すべての電気が遮断されるので、懐中電灯等の準備が必要

(瀬戸内市HPより)



原野 健一

問 旧牛窓診療所（建物）の今後の活用策は

答 地域の方の意見を聞きながら検討する

問 牛窓診療所の閉院が議会でも可決されたことにより、完全にこの施設は、病院診療所ではなくなってしまう。

総務部長

この場所の前方には風光明媚な海が広がっている。

また隣接して幼稚園、小学校や出島公園等々もあり、すばらしい環境である。

ただこの地域でもやはり、全国的にそうであるように空き家も増えてきている。

今回その活用について募集したところ、デザインとか建築士等専門家の方から2件の提案があった。その事からも、大変魅力がある施設、また立地にあることは伺える。この施設だけでなく、周辺の施設も関係づけて、観光の拠点となるような活用ができればと考えるが、財源がどれくらい必要なのか、また



旧牛窓診療所から眺めた風光明媚な内海

た耐震があるのかわからないかも、大きな鍵になってくる。

売却するにしても活用するにしても、地域の方の意見を聞きながら、その有効な活用方法を検討していく。



角口 隼一

問 女性医師の確保に取り組んでは

答 新市民病院開院にあわせ準備したい

問 医師の中で女性の占める割合が20年前と比べると2倍に増えていることから、女性医師を確保できること

が、20年30年先も安心して医師を確保できる病院にしていきたいための最善策である。

そこで、岡山大学が進める復職支援医療機関へ登録し、仕組みから医師を確保できる体制整備をするべきであると考えているのか。

病院事業部長

現在の病院施設では、院内に保育施設がないこと、女性医師が休憩したり、勉強したりできる場所がないことからこの復職支援プログラムに参加はでき

ていない。

しかし、新市民病院開院にあわせ登録をする準備をしている。

問 若い医師の確保のために、

地域医療を学べる臨床研修連携病院にできないか。

病院事業部長

平成27年度から岡山赤十字病院の連携施設として4名受け入れ、本年度は5名受け入れる。

平成29年4月から開始される新たな専門医制度に係る専門研修プログラムの基幹病院となる



新瀬戸内市民病院の受付



日下 敏久

問 認知症初期集中支援チーム設置は

答 来年度中に設置する

問 1年後の市長選を市議会議員選挙と同日選挙としては。

選挙管理委員会委員長

有権者の利便性、投票率の向上、選挙経費の削減等を念頭に協議し、今年度中に決定したい。

問 梅雨の時期に入っ

たが、通学路・生活道路、水路の点検整備状況は。

産業建設部長

路面性状調査の結果や日常点検、各地区からの連絡により問題を把握し、予算の範囲で対応していきたい。



ALTによる英語教育



森 俊之

問 沿岸部排水計画策定後は

答 年次計画を立て計画的に実施する

問 沿岸部排水計画の詳細とスケジュールは。

産業建設部長

応急仮設ポンプ設置箇所、浸水被害地区を含めて、ポンプの規模見直しや常設ポンプとのトータルコスト比較検討を行う。

今年度末迄に設計検討、概算事業費の算出、今後の課題の整理を行う。

問 計画実現の覚悟は。

市長

実現のための計画策定である。いろんな調整が必要だが年次計画を立て進めていきたい。

問 市道錦海師楽線の完成を待ち望むが、安全面の対策も必要では。

産業建設部長

案内看板、道路標識の設置や集落内でスピードを出させないための工夫を警察と相談しながら行っていく。

通学路となっている中浦・師楽の県道については拡幅など県に要望していくが、早急に警戒標識の設置や路面表示を要望していく。

市長

錦海師楽線の一日も早い完成を進める



急カーブが続く師楽～中浦間の県道

と同時に、安全対策も早急に地元と協議しながら進めていきたい。

問 新公共交通網形成計画では地域内移動が考慮されていないのでは。

副市長

公共交通と福祉面との両方の観点からの議論が必要と考える。



高岡 直美

問 瀬戸内市防災会議の日を制定しては

答 来年度から制定する

問 当市の自主防災組織の組織率は72.7%と全国でも高く、先進的に取り組んでいるが、自助の意識向上のためには、家族で防災に対して話し合うことが大切。

「瀬戸内市防災会議の日」を制定し、PRしてはどうか。

危機管理部長

啓発活動の認知度を上げること、災害時の連絡方法や集合場所、非常持ち出し品などを家族で話し合うのは自助には有効。来年度から制定する。

問 女性活躍推進法が制定されたが、男女共同参画基本計画の

改訂時期でもある。今後の推進計画は。

市民部長

審議会は前回の改訂版策定以来、1度も開いていない。専門知識のある方を入れて、毎年検証し、連携を取り活動を推進する。

問 合併前は活発に男女共同参画を推進して

いたが、今の体制で推進はできるのか。

市長

市民課に参事を置いていく。これから男女共同参画の推進に力を入れていく。



とっとこクラブによる防災教室

問 本市の女性職員の労働環境改善も必要。どう取り組むのか。

総務部長

今年度、職員による職場環境改善のワークショップを開催予定。その中で職員の意見を把握し、施策に反映する。



島津 幸枝

問 木造住宅の耐震改修の促進を

答 耐震化率95%に向け制度化する

問 熊本地震では、昭和56年以前の旧基準建築物が56年以降の新基準建築物の住宅が、明暗を分けたと報道された。

本市内には旧基準で建築された木造住宅のうち、耐震性不十分の住宅は2711戸ある。耐震改修工事の促進を求める。

三世代同居等推進リフォームの補助制度など、他の制度と併用できるようにしてはどうか。

産業建設部長

平成32年度までの目標耐震化率を95%と設定している。達成できるように、補助制度の周知、啓発活動をあわせて行い、多くの方に利



瀬戸内市営火葬場(牛窓町鹿忍地区)

用してもらええる制度にしていきたい。

問 新火葬場建設は約36億円の整備費と岡山市と合同でする方針が示されている。しかし、計画は少なくとも2年は遅れているが、合併特例債は活用できるのか。少しでも経費がかからない選択を願う。

環境部長

平成31年度の合併特例債の発行期限を意識して、推進する。

市長

建築費用だけでなく、維持管理費も最大限少なくなる方法を選択していくことが我々に与えられた使命だと思っている。



布野 浩子

問 6次産業化の推進体制は

答 商工会や金融関係と連携して推進する

問 6次産業化は第1次産業従事者にとつてハードルが高い。もっと商工会と連携を取る必要がある。約4600万円の地域産業創出総合対策事業の予算は当市の産業全体を活発にするためのもの。どのように体制を整えるのか。

市内の農林水産物等を活用した新商品開発による、農林水産業等の事業者の所得向上を図る。事業経営に関する支援体制がないので、商工会や金融関係等に対して実施体制の協力を求めている。

産業建設部長

市内的な農林水産物等を活用した新商品開発による、農林水産業等の事業者の所得向上を図る。事業経営に関する支援体制がないので、商工会や金融関係等に対して実施体制の協力を求めている。

改訂時期でもある。今後の推進計画は。

市民部長

審議会は前回の改訂版策定以来、1度も開いていない。専門知識のある方を入れて、毎年検証し、連携を取り活動を推進する。

問 合併前は活発に男女共同参画を推進して

いたが、今の体制で推進はできるのか。

市長

市民課に参事を置いていく。これから男女共同参画の推進に力を入れていく。

問 この事業を進めるには、多くの第1次産業従事者の協力、まとまりが必要。振興公社の役割は。

これまでと違った、一定の役割を担っているだけだと考えている。

市長

これまでと違った、一定の役割を担っているだけだと考えている。

産業建設部長

中山間地域等直接支払制度など積極的に活用し耕作放棄地の発生防止に努める。鳥獣被害対策も含めた里山の保全活動を推進する。



瀬戸内市の豊かな農産物



小谷 和志

問 空家対策について

答 各部署と連携し対応

問 空き家の件数を把握しているか。

市民部長

26年度に税務課で実施した調査によると空家全棟は、1,147棟、そのうち居住不可能と思われる家屋は263棟である。

問 倒壊しそうな空き家に対する対策は。

危機管理部長

空き家等対策の推進に関する特例措置法に基づき、所有者において適切に管理するよう指導する。

問 活用できる空き家への対策は。

総合政策部長

空き家バンクを通じて実施している。移住定住のための住まい探しの支援サービスを活用し、その流動化に努めている。

問 高齢者世帯の生活支援は。

保健福祉部長

介護が必要な方には介護保険制度による各種サービスがある。緊急時の対応として、病弱な高齢者のみ世帯を対象とした緊急通報装置の貸与を行っている。



厚東 晃央

問 福田保育園拡張計画の再検討を

答 さまざまな意見を聞き、再検討する

問 福田保育園の充実をするための計画は、2階建てで4部屋増築するものである。市全体のこと、財政的なことを考えると、できるだけ抑えた予算で現施設やJA旧福田支所の建物などを最大限活用していくべきである。

市長

「JA旧福田支所を解体し、園庭の拡張や駐車場としての活用」「増築する部屋の1室に発達障害などの支援に関する部屋」など再検討するべきではないか。

保健福祉部参与

園児の安全を確保し、保育士が安心して保育を行えることに留意し、よりよい保育環境を整備ができるように、いろいろな意見を聞いて再検討していく。

問 計画に示されている保育料の適正化という名の値上げは撤回すべきではないか。

市長

さまざま意見聞き、議論して方向性を示していく必要がある。

問 多子世帯への保育料の軽減は市独自で対応するべきではないか。

保健福祉部参与

国・県から要綱の提示があったので、早急に対応する。



改善が求められる0・1歳保育室(福田保育園)

石原 芳高

問 市民のボランティア活動への支援を

答 仕組みづくりを検討していく

問 被災者支援のために、災害派遣等従事車両証明書などの制度はあるが、一般の方や、ボランティア活動をされている方が、制度を利用するにはハードルが高い。先の熊本地震において、被災者支援へ赴いた瀬戸内市在住の方は、自費で被災地へ行かれているのが現状である。被災地支援を行う市民に行政の支援は出来ないのか。

市長

残念ながら今のこの制度の中では、災害時に無料の通行許可証が得られない段階で、市費を使って通行料を出すという手立てはない。この度の事を大きな教訓として、今後の研究課題としたい。

市長

平時より、どのような役割を担っていたのかということ、あらかじめ想定して準備をすることは検討の余地があった。まずは仕組みづくりを検討していく。

室崎 陸海

問 歴史伝統文化の保存継承について

答 財源確保を一層真剣に考えていく

問 地方創生に煽られて日本人の心も歴史伝統文化も忘れさられようとしている。昨今、市は、地域の祭り等に今後どのように対応していくのか。

市長

来年の北前船寄港地フォーラムは瀬戸内市を大きくPRする非常に有意義な絶好の機会である。本市の奥深い文化財伝統に触れてもらうため検討している。提案の趣旨を十分踏まえた取り組みを行う。

教育長

心の豊かさを実感し、潤いのある生活を送るためには、故郷としての誇りや愛着が持てるような歴史や伝統文化を大切にすると町を表現することが必要である。そのため、重要なものについては、文化財に指定し保護に努める。

市長

少子化により祭り、行事の継続が困難になりつつあることに非常に

問 遺跡等の整備をして観光と歴史、文化の学習支援に役立てては。

教育長

遺跡の中には多くの文化財がある。大規模な前方後円墳10基をはじめ大小約400基以上確認している。学習支援に活用できるように努めていく。



弘法寺踊供養の様子



馬場 政教

問 有害鳥獣のより一層の駆除推進を

答 被害マップを作成し把握に努める

問 鳥獣被害が懸念されるようになり、十年が経過した中、多くの議員が対策をお願いしてきた。

産業建設部長

鳥獣の被害は災害であり、状況を把握し対策を市が検討していくために必要な、被害マップはあるのか。

現在のところ被害マップは作成できていない。

今後の対策の実施において、被害の発生箇所などについては基礎的なデータとして必要となるので把握に努める。

専門の部署の設置は理想的だが、年々事務量が増加しており、課を独立させるのではなく課の中で協力体制をとっていく。

市長

問 証明事業の外部、民間委託、納税などにコンビニ、ネットバンクを活用してはどうか。

市民部長

外部・民間委託は引き続き検討を進める。納税などはコンビニ、ネットバンクを利用した制度導入を前向きに考えていきたい。



どうにかならぬ鳥獣被害



小野田 光

問 裳掛児童館を耐震化すべきでは

答 耐震診断を早急に行う

問 現在使用している市立の保育施設において、裳掛児童館のみが耐震化が施されていない。

本市において、きめ細かな特色ある学校運営を行い、子どもたちの個々の個性や学力を伸ばすために、

いつ起こるとも知れない地震に備えるためにも、早急に対処すべきでは。

※小規模特認校制度を活用してはどうか。

教育長

今後の本庁舎のあり方は。今の分庁方式をどう集約するか、慎重に検討を進め一定の結論の報告を年度内に行いたい。

市長

耐震診断を早急に行い、今後の方向性を検討する。

問 保育施設という観点だけでなくコミュニティを活性化するためにも、今後とも存続させるべきだ。

市長

地域の活性化に役立つ施設は、しっかり残していきたい。



耐震化が必要な裳掛児童館

※小規模特認校制度
特色ある学校運営を行う小規模な学校について、その学校の通学区域に関係なく選択を認めるものです。



川野 泰一

問 スポーツ関連施設の整備は

答 次期スポーツ振興計画の中で策定する

問 スポーツの振興には、関連施設の整備が必要だが、現状と課題は。

で、老朽化が進んでいる。また、各施設が旧町に合わせた規模のもので、全体的な大会や行事を行うには手狭な状況である。現在、来年度からの次期スポーツ振興計画を検討中であり、これらの状況を踏まえ、策定したい。

どのような基準により対応しているのか。

問 牛窓の民俗資料館跡地と、その南側に隣接した土地の有効利用を、どのように考えているのか。

堀を撤去するなどして、当面の間はバスの停留所や駐車場として、観光に利用する考えは。

2月議会で、市長などの給与の特例に関する条例が、僅差で否決された。反対討論から推察すると、内容を変更して提案すれば可決されると思う。なぜ今議会で提案しなかったのか。行革プランに沿うのであれば、提案すべきではないのか。

教育次長

市内には、目的に応じたスポーツ施設があり、全ての施設が合併以前に建設されたもの

最近、デイスの送迎車や宅配便などの大きい車が、住宅地の狭いところを頻繁に通っている。空き家が撤去された時などで市道の拡幅について、地権者の了解が得られることもある。市道の拡幅は、

錦海塩田跡地にプレジャーボートの係留場所を整備し、周辺に駐車場やトイレを整備できないか。

この土地は、公的施設が点在する牛窓地域の、中心部とも言える場所に位置していると言える。隣接している広大な工場跡地があり、どのような形で活用出来るのかということを見極めながら検討していく。

様々な研究をしながら、早急に方向性を見出すことが必要だと考えている。

行革の流れの中で、身を切る覚悟で市民の皆さまに、ご負担をお願いしたいということが、私どもの本意であった。

問 イサービ

問 錦海塩田跡地にプレジャーボートの係留場所を整備し、周辺に駐車場やトイレを整備できないか。

産業建設部長

今後の土地利用計画の中で検討したい。

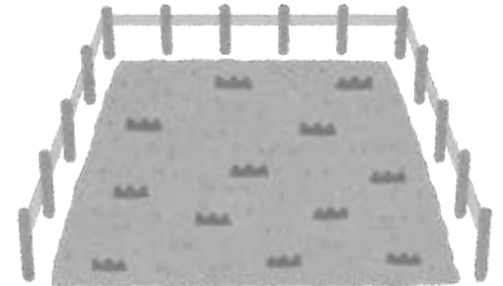
市長

任期が残り1年となった私の、パフォーマンスととられてしまうことが残念で、再提出は考えていない。



邑久B & Gテニスコート

市道の拡幅は、



行革の流れの中で、身を切る覚悟で市民の皆さまに、ご負担をお願いしたいということが、私どもの本意であった。



★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから募集します



市民図書館のオープンを祝う園児(邑久幼稚園・邑久保育園)



プール開き(牛窓東小学校)



親子でカレー作り(今城幼稚園)



田植がおわった千町平野

議会報告会を開催しました

(5月14日、21日、28日)

市民からの主な意見・要望(詳細はホームページに掲載)

- ・地域公共交通網形成計画は、過疎地の高齢者だけでなく、通勤・通学の人にも目を向けてほしい。赤字になってもやるといわれたが、赤字になったらやめるべきだ。
- ・駅のトイレが古く汚い。改善できないか。
- ・県道の佐井田バイパスの計画があると聞いた。この計画が早期実現するよう願っている。
- ・図書館の開館時間が邑久と牛窓・長船で違い、不公平感がある。
- ・牛窓にもかなり古い建物がある。市は危険な空き家をどう考えているのか。
- ・茶碗川にヘドロがかなりたまっている。旧牛窓町時代のように、2年に1度は浚渫してほしい。
- ・地域の活力が失われている。その要因は教育にある。家庭教育支援にも力を入れてほしい。
- ・新しい図書館ができるのは楽しみだが、足を運べない高齢者への対応はどう考えているか。今後検討してほしい。
- ・地域の活性化が必要であるが、コスト削減のために一括交付金の導入や行政委員の手当て削減が検討されていると聞く。それよりは議員定数削減のほうが、効果大なのではないか。

※即時に返答できるものは、その場で返答させていただき、できないものは、後日直接ご本人に返答させていただきました。

6月1日、市民図書館が開館しました。現在、一日平均8000人の来館があり、千冊の貸し出しがあるそうです。私も調べものや、ミーティングに利用しています。老夫婦の方たちが、いすに座って新聞や雑誌を読まれている姿、数学の教科書を抱えて、友だちと二階の学習室に駆け上がったいく子どもたちの姿、若いお父さんが、小さなお子さんに読み聞かせをしている姿など今まで見かけなかった様子が見えて、とても幸せな気分になります。

図書館はまちづくり、人づくりの拠点になると言われています。文化やサービスを地産地消する自立したまちづくりに取り組んでいきたいと考えています。(布野)

編集後記

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

8月31日(水)	本会議	9:30～
9月6日(火)	本会議	9:30～ 一般質問
7日(水)	本会議	9:30～ 一般質問
8日(木)	本会議	9:30～ 一般質問
12日(月)	本会議	9:30～
26日(月)	本会議	9:30～

お気軽に傍聴してください。

(都合により、日程が変更となる場合もあります。)

インターネット
中継はこちら
から

この市議会だよりは
再生紙を使用しています

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp>